記者発表資料

令和６年２月２１日
国　土　交　通　省
山形河川国道事務所

《 E13 東北中央自動車道》

企業立地・観光などを支える東北中央自動車道
～　開通1年後の交通状況及び整備効果について　～

東北中央自動車道（以下、東北中央道）は、東根北(ひがしねきた)IC～村山本飯田(むらやまもといいだ)IC間が令和４年１０月２９日に開通、次いで、泉田(いずみた)道路が令和４年１１月２０日に開通し、高規格道路で関東地方から新庄市まで繋がりました。

今回、開通から１年経過した交通状況及び整備効果をとりまとめましたので、お知らせします。

≪交通状況≫
・東北中央道･国道13号を合わせた断面交通量は、1,500～3,500台/日増加
・福島市以南から新庄市以北間の広域交通は、約90%が東北中央道経由に転換

≪開通１年後の整備効果≫
【企業立地】
・新庄市では、開通後1年で2工場が立地
・東北中央道の整備等を背景に企業立地が進展し、沿線企業の産業振興に寄与
【観光】
・最上地域における関東からの休日来訪者が、約1.6倍に増加
・道の駅「尾花沢」では、広域からの来訪が増加し、売り上げも約1.2倍に増加
・東北中央道の整備により、地域の賑わい創出に寄与

≪ネットワークの整備効果≫
【農業】
・東北中央道と山形道・東北道のダブルネットワークが形成、農産物の輸送安定化に寄与
【医療】
・最上･置賜地域から山形市への救急搬送の安定性が向上
【防災】
・東北中央道･国道１３号のダブルネットワークが形成、災害･事故に強い道路へ

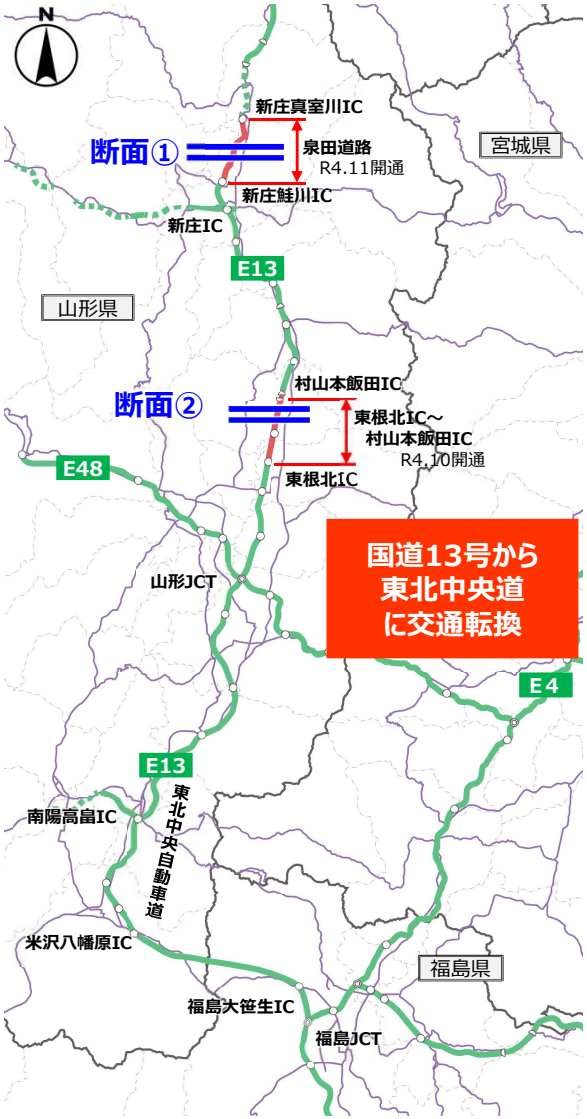
＜記者発表先：山形県政記者ｸﾗﾌﾞ、米沢記者ｸﾗﾌﾞ、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙＞

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所　電話：023-688-8421(代表)
副所長（道路担当）　佐藤(さとう)　正(ただし)　（内線205）
調査課長　佐藤(さとう)　敦(あつし)　（内線451）

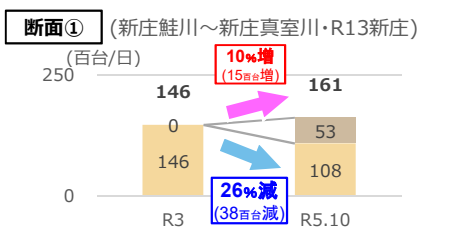
＜交通状況＞

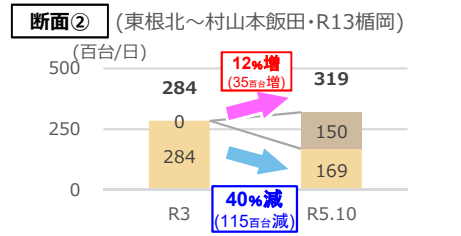
■開通区間では国道13号から東北中央自動車道への交通転換が図られ、国道13号・東北中央自動車道の断面交通量が10～12%増加。(1,500～3,500台/日増加)
■東北中央自動車道の段階的整備に伴い、福島市以南と新庄市以北の広域交通で、東北中央自動車道の利用割合が増加。
(H29　東北道＋山形道：91%、東北中央道：6%　⇒　R5　東北道＋山形道：7%、東北中央道：92%)

東北中央自動車道と国道13号の交通状況の変化 （ R3 ⇒R5 ）



▼断面交通量の変化(全車・平日)

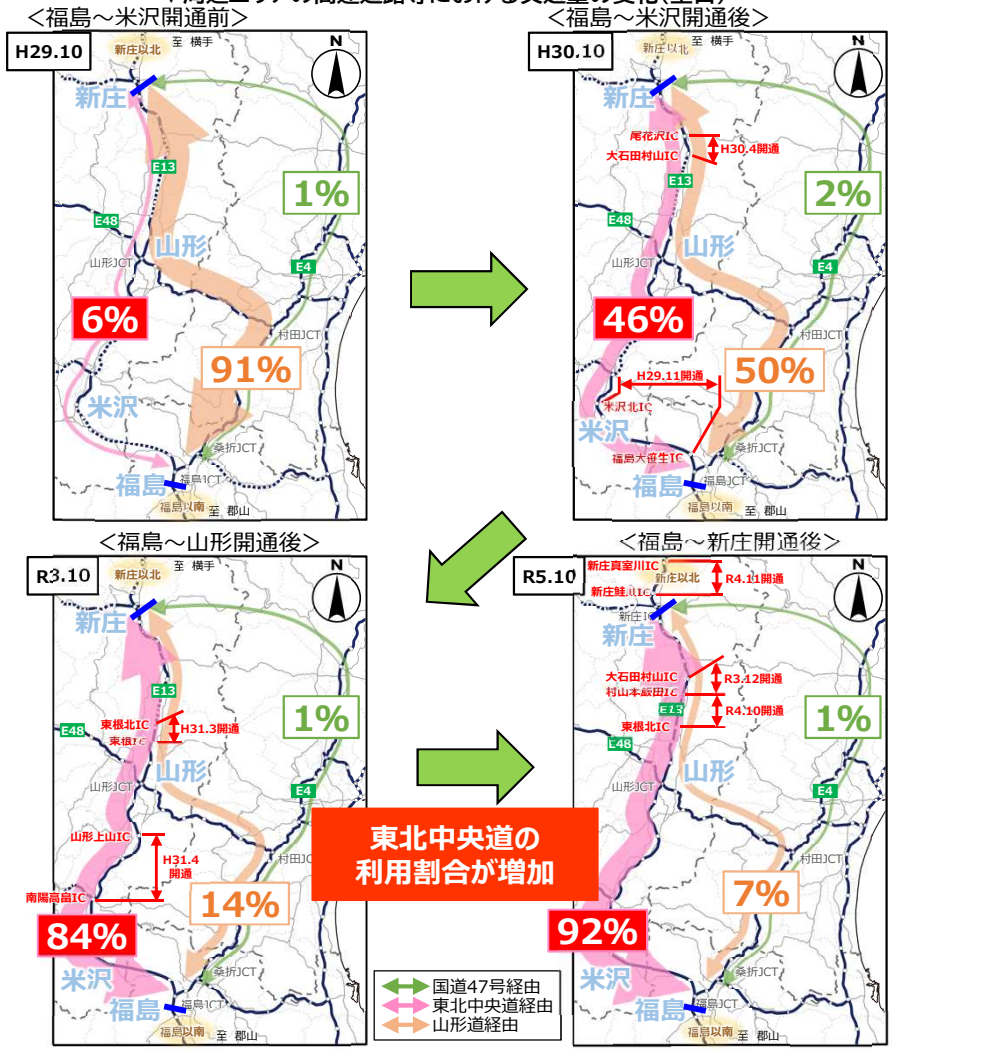




出典：(R3) 全国・街路交通情勢調査
(R5.10) トラフィックカウンターデータ

広域交通の転換状況の変化(福島市以南－新庄市以北間)

▼周辺エリアの高速道路等における交通量の変化(全日)



※「東北中央道・国道13号、山形道・国道287号、国道47号」を対象とし福島市以南-新庄市以北間の発着交通利用経路から割合を算出

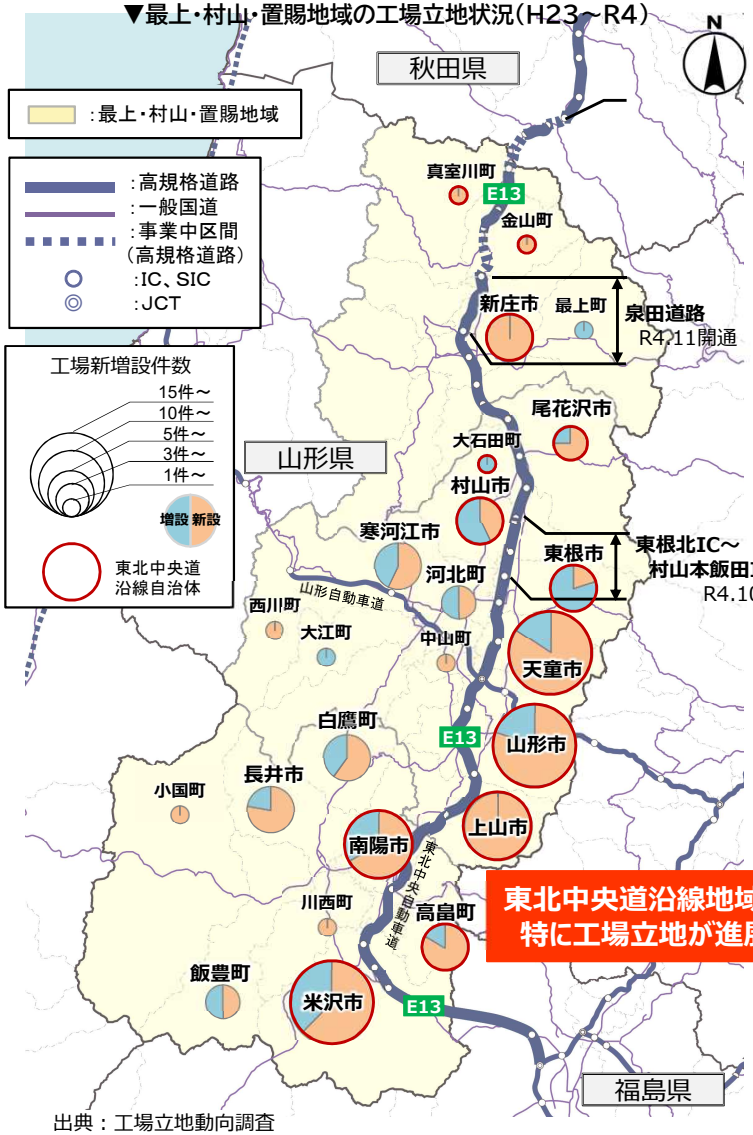
出典：ETC2.0データ

＜開通1年後の整備効果＞【企業立地】

■東北中央自動車道の整備とともに、最上・村山・置賜地域では工場が157件立地。
特に、東北中央自動車道沿線地域において119件が立地し、最上・村山・置賜地域の約8割を占める。
■高規格道路で関東地方と直結した新庄市では、令和5年度に2工場が新増設され、EV向けなどのコネクタ部品を東北中央自動車道を利用し関東へ輸送。
■東北中央自動車道の整備などを背景とした企業立地が進展し、沿線企業の産業振興に寄与。

最上・村山・置賜地域の工場立地が進展

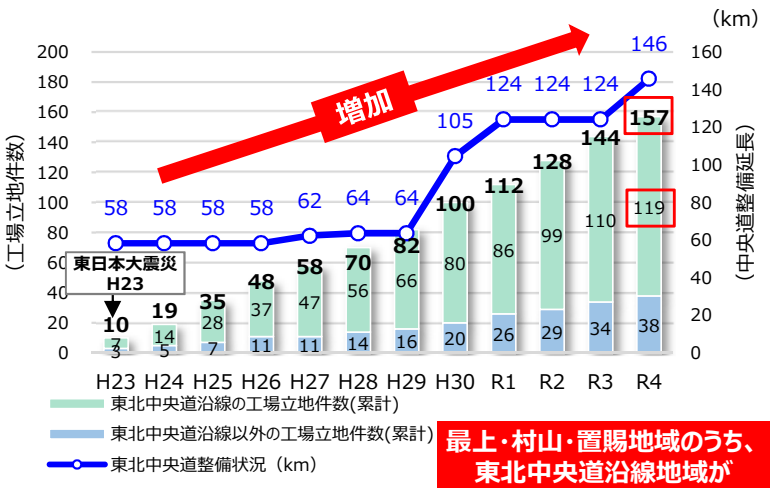
▼最上・村山・置賜地域の工場立地状況（H23～R4）



出典：工場立地動向調査

最上・村山・置賜地域での工場立地件数の推移

▼最上・村山・置賜地域の工場立地件数（累積）



最上・村山・置賜地域のうち、東北中央道沿線地域が約8割を占める

※村山・置賜・最上地域を対象
※整備延長は東北中央道（福島JCT～山形・秋田県境）

出典：工場立地動向調査

工場立地事例（新庄市）

▼新庄市の工場立地



出典：新庄市ヒアリング結果　※NTTインフラネット株式会社を加工

沿線自治体（新庄市）の声



●村山・置賜地域に比べて、工場立地の推移は緩やかだったが、最上地域と関東地方が東北中央道で繋がったことにより、**企業進出が出始めている**。また**企業進出の問合せも増加**しており、**企業誘致のセールスポイント**となる。

出典：ヒアリング結果（R5.10）

東北中央自動車道を利用しコネクタ部品を関東へ輸送

▼国内トップシェアを誇るコネクタ製造企業（新庄市）の例



写真：企業提供

企業（新庄市）の声



●ＥＶ（電気自動車）向けなどの**コネクタ国内生産体制強化として新工場を竣工**。
●国内生産体制強化は、**東北中央道が整備され、新庄まで開通したことも、一要因と言える。**
●**泉田道路を含む東北中央道を利用し、東京へ輸送**しており、山形から国内生産を支えている。
●お客様の注文状況にもよるが、新工場竣工前後で、トラック荷量の実績として、10t車で140台/月から160台/月と増えている。

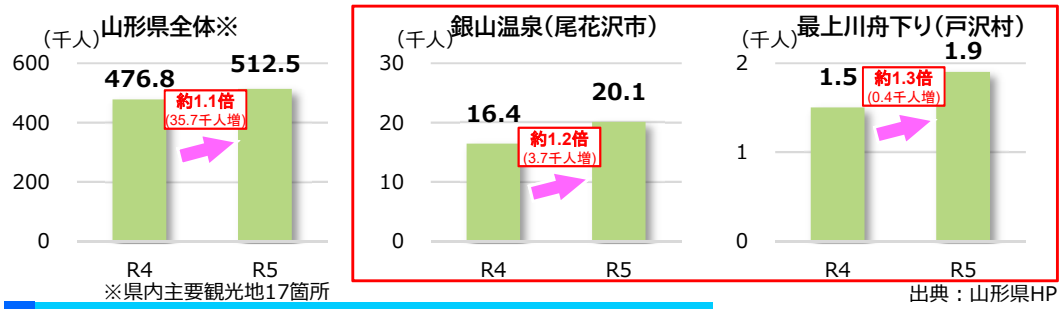
出典：ヒアリング結果（R6.1）

＜開通１年後の整備効果＞【観光】

■開通後初のゴールデンウィーク期間では、開通区間近隣の観光地（銀山温泉・最上川舟下り）において観光入込客数が増加。
■特に高規格道路で関東地方と直結した最上地域では、関東からの休日来訪者が約1.6倍に増加。道の駅「尾花沢」では来訪エリアが拡大し売り上げも約1.2倍に増加。
■東北中央自動車道の整備により、観光入込客の増加や来訪エリアの広域化など、地域の賑わい創出に寄与。

ゴールデンウィーク期間中、開通区間近隣の観光地で観光入込客が増加

▼観光客の入込変化（R4・R5GW）

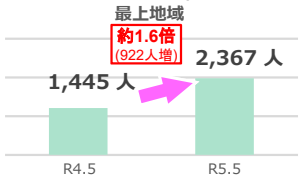


※県内主要観光地17箇所

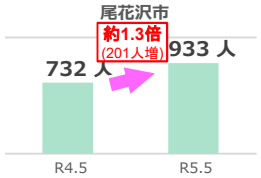
出典：山形県HP

最上地域等において関東からの休日来訪者が増加

▼最上地域の来訪者数の変化
（R4・R5の5月期休日）

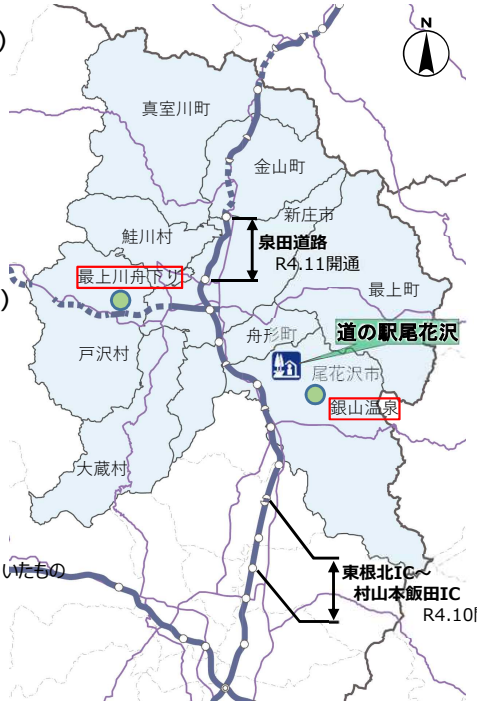


▼尾花沢市の来訪者数の変化
（R4・R5の5月期休日）



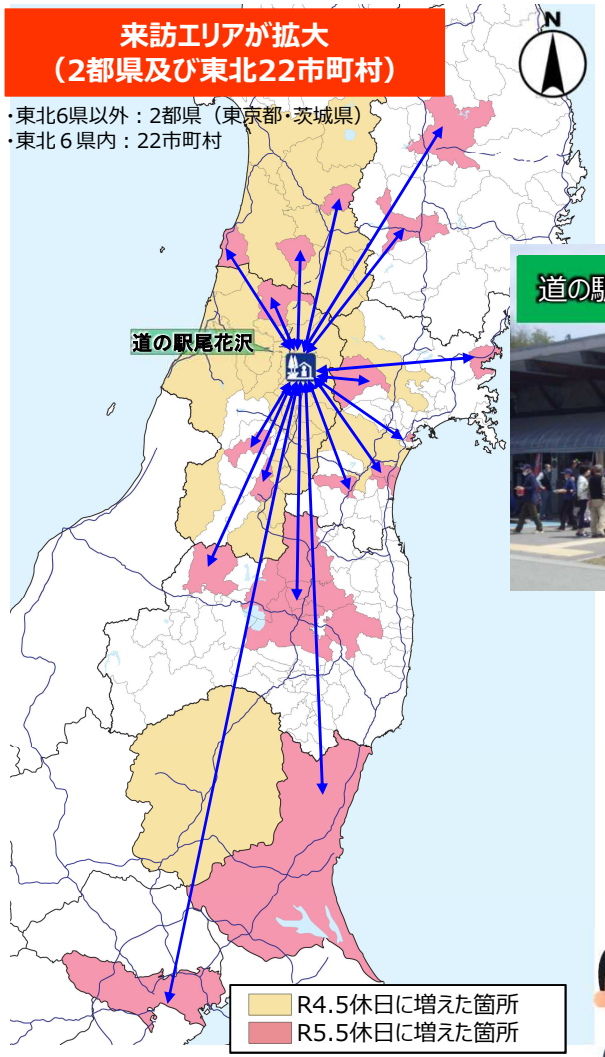
出典：内閣官房・経済産業省提供
地域経済分析システム（From-to分析）※
※携帯電話のアプリ利用者の位置情報を用いたもの
・対象期間：R4.5・R5.5
・休日14時の居住地別滞在人数から算出

最上地域及び尾花沢市において関東からの来訪が増加



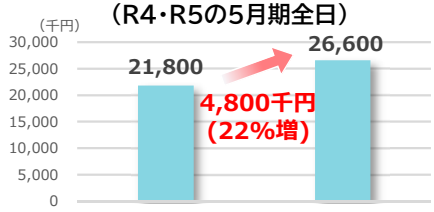
道の駅「尾花沢」立ち寄り客の来訪エリアが広域化し売り上げも増加

▼道の駅尾花沢の来訪エリアの変化
（R4・R5の5月期休日）



対象期間：R4.5休日、 R5.5休日
出典：ETC2.0データ

▼道の駅尾花沢の売上額の変化
（R4・R5の5月期全日）



出典：尾花沢市提供資料



沿線自治体(尾花沢市)の声



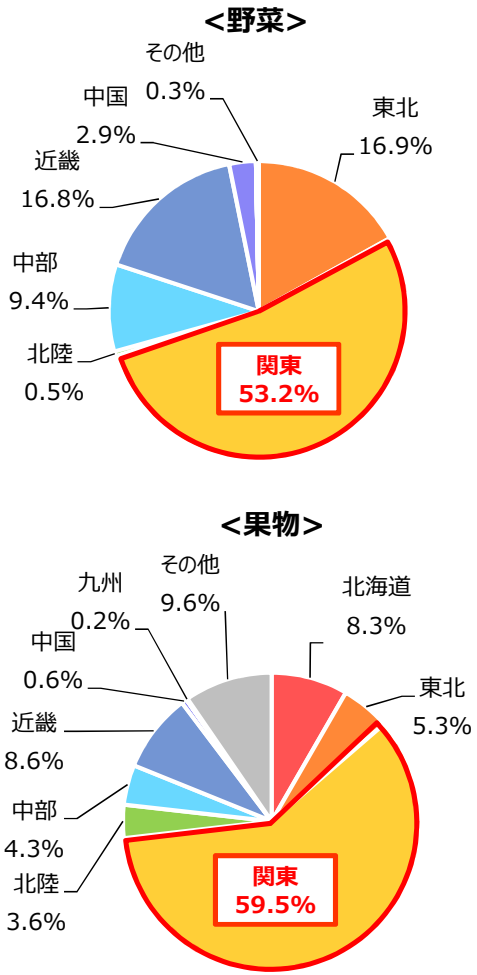
- 首都圏と最上地域が高速道路で繋がったことに加え、コロナによる行動制限がなくなったことも後押しし、県内ナンバーはもとより、**県外ナンバー（関東、福島、宮城等）の来訪も多く見られ、高速道路ネットワークによる効果を感じている。**
- **GWは人出で賑わい、売上も順調に増加しており東北中央道の開通効果と認識している。**
- 今後もにぎわいを創出できるよう、イベントなどを企画していく予定。

出典：ヒアリング結果（R5.5）

＜ネットワークの整備効果＞【農業】

■山形県産の農産物（野菜・果物）は、半数以上が首都圏向けに出荷。
■置賜地域の農産物は、主に東北中央自動車道を利用し首都圏へ出荷。村山・最上地域の農産物の首都圏出荷時には、東北中央自動車道と山形自動車道及び東北自動車道を状況に応じた経路選択が可能に。
■東北中央自動車道の整備により、ダブルネットワークが形成され、農産物の配送遅延の回避など輸送安定化に寄与。

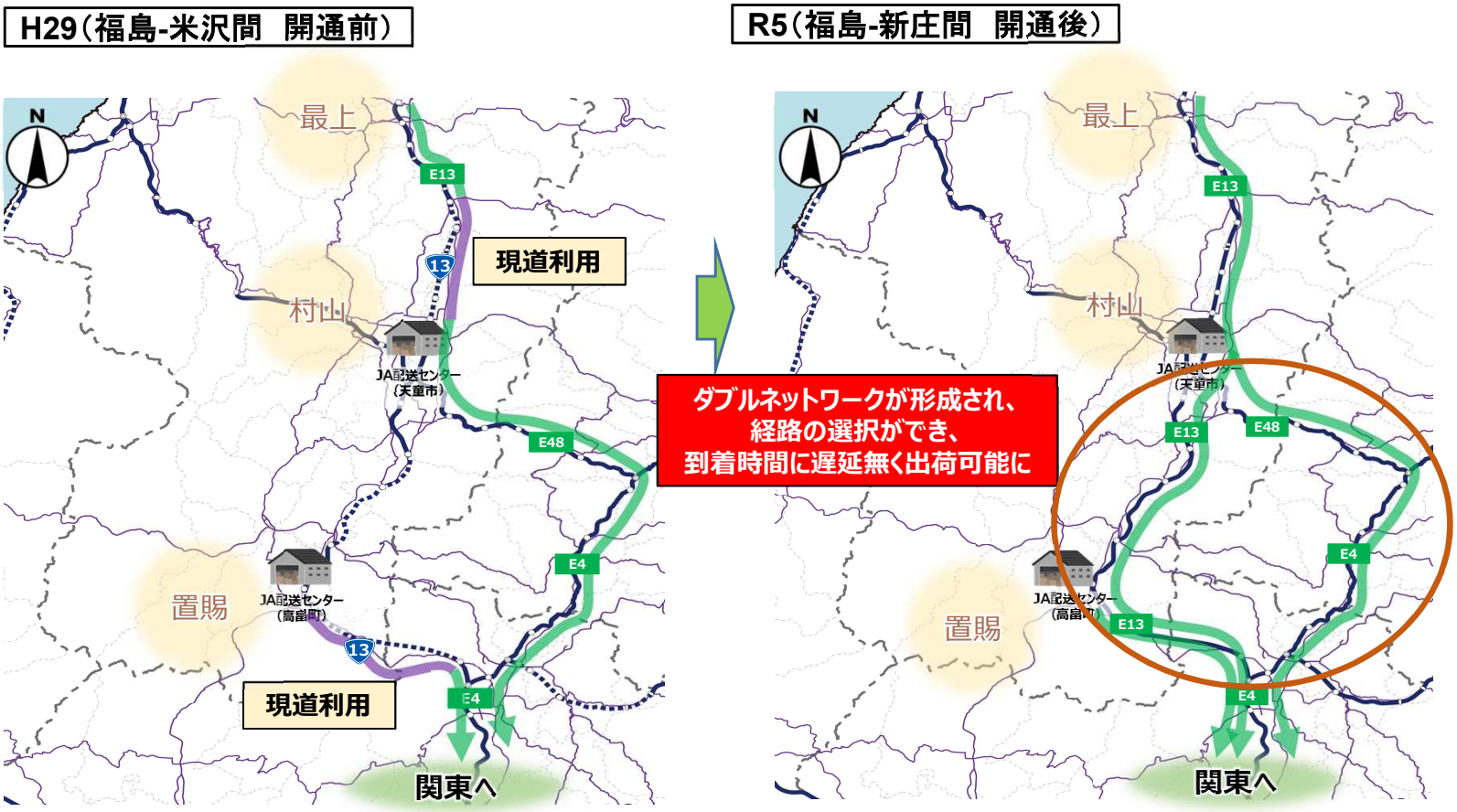
山形県産農産物の販売先割合（R4）



首都圏向けが約5～6割

出典：JA全農山形提供資料

山形県産農産物の出荷ルート変化と効果



※トラックが満載でない場合、　天童市の配送センターに集約

ＪＡ全農山形の声



- 東北中央道の開通に伴い、置賜地域の農産物は、**主に東北中央道を利用し東京都中央卸売市場へ出荷**され、村山・最上地域の農産物は、**状況に応じ、東北中央道または山形道を利用し東京都中央卸売市場へ出荷**。
- 東北中央道・山形道のダブルネットワークができたことにより、事故・通行止め発生時も、**状況に応じた道路を選択でき、到着時間の遅れなく、出荷が可能**となった。

出典：ヒアリング結果（R5.12）

＜ネットワークの整備効果＞【医療・防災】

■最上・置賜地域の病院では、より高度な医療が必要となった場合には、山形市の高次医療施設へ搬送が必要。
■東北中央自動車道の整備により、安定した搬送が可能となるなど、地域の救急医療活動を支援。
■東北中央自動車道と国道13号のダブルネットワークが形成され、災害・事故に強い道路に。

東北中央自動車道の整備により救急搬送の安定性が向上

▼東北中央道を利用した救急搬送ルート

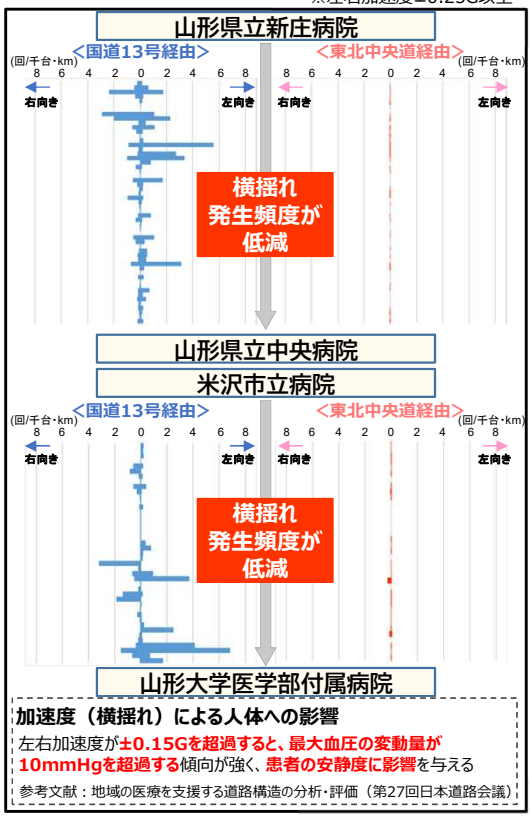


出典：各病院HPより

出典：令和４年救急救助統計、消防本部ヒアリング

▼救急搬送ルートの横揺れ※発生頻度
（東北中央道・国道13号）

※左右加速度±0.25G以上



出典：ETC2.0データ

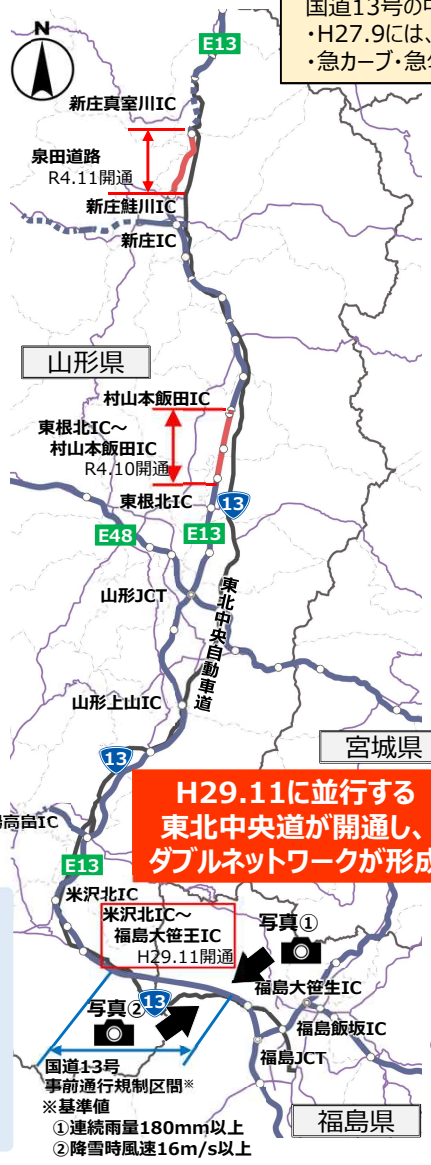
消防本部の声

- 東北中央道（東根北～村山本飯田）開通により、新庄病院から山形県立中央病院等への**搬送時間の短縮**に加え、**信号交差点等の通過に伴う揺れも少なくなり、患者さんへの負担が少なく、安定的な搬送が可能**となりました。（最上地域）
- 置賜地域での対応が難しい**より高度な医療を要する**場合は**山形市の病院へ転院搬送**している。平成31年度には東北中央道が山形市まで繋がり**迅速な搬送が可能**となりました。（置賜地域）

出典：ヒアリング結果（R5.12）

ダブルネットワークの形成により災害・事故に強い道路へ

国道13号の中でも福島－米沢間の栗子峠には事前通行規制区間が存在。
・H27.9には、大雨による通行止めが発生。（連続31時間）
・急カーブ・急勾配などあり、冬にはスタックによる立ち往生も発生。





道路利用者の声

- 新庄～東京まで、毎日製品を出荷しているため、**事故通行止め等あっても、ダブルネットワークとなったことで、安定的な出荷ができている**。特に**冬期の運搬については安心感も増し、企業活動が止まることなく、効果としても大きいと感じている**。（製造企業）
- 医療現場は広範囲であり、現場への出動や病院への搬送など、**ダブルネットワークの形成により、状況に応じた経路選択が可能となり、救急医療活動がしやすくなった**。**ダブルネットワークだと、どちらかの道路が災害等通行止めとなっても、もう一本あるので心強い**。（消防本部）

出典：ヒアリング結果（R5.12）